

(仮称)太田西複合拠点公共施設基本設計・実施設計業務 公募型プロポーザル

選定委員会による審査結果の公表

(仮称)太田西複合拠点公共施設は、老朽化により建替えが必要となる新田図書館及び施設の集約化によりサービス水準を維持しながらも利便性を向上させ高効率化を目指す保健センターや行政窓口機能を統合し、太田市西部地域のにぎわい拠点となり得る施設として整備することを目指しています。

本プロポーザルにあたっては、「(仮称)太田西複合拠点公共施設基本構想(令和3年1月)」における基本方針を踏まえるとともに、この施設が、建設予定地の地理的要因や本市が持つ豊かな自然・歴史・文化といった地域資源を活かした交流拠点となるよう提案を求めました。

■事業概要

事業名称：(仮称)太田西複合拠点公共施設
基本設計・実施設計業務

計画地：太田市新田金井町6番1ほか

事業内容：基本設計、実施設計

事業期間：令和4年3月31日(予定)まで

■応募者

参加表明書提出者：15者

技術提案書提出者：8者

■審査の方法

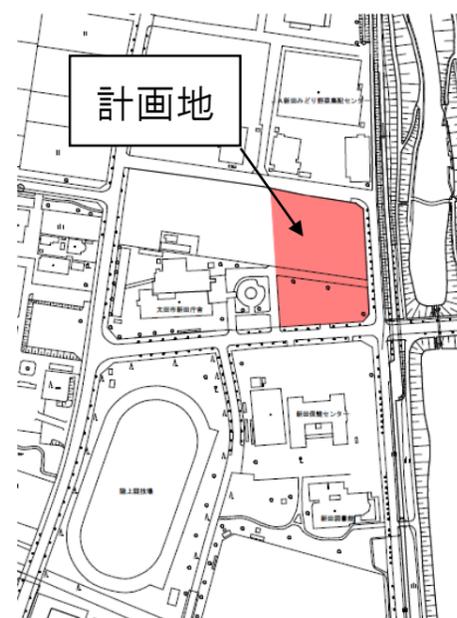
選定委員会において、提出された提案書の書類審査及びプレゼンテーション・ヒアリング審査を行い、選定委員会による審査・協議を経て特定します。

■審査結果

提出された提案書を厳正かつ公正に審査した結果、

株式会社 平田晃久建築設計事務所

を特定しました。



■選定委員長講評

令和3年3月19日 選定委員会委員長 高橋 進

参加表明のあった15者のうち、技術提案書を提出した8者に対し、令和3年3月19日に技術提案書によるプレゼンテーション及びヒアリング審査を実施し、慎重に議論を重ね、評価点数の順に最優秀者(受注候補者)として「株式会社平田晃久建築設計事務所」を、次点者として「株式会社新居千秋都市建築設計」を選定しました。

○特定「株式会社 平田晃久建築設計事務所」

最優秀者である(株)平田晃久建築設計事務所の提案は、「各施設の機能」、「施設間連携・にぎわいづくり」、「環境負荷低減」、「地域との調和」、「災害対策」等全項目において高い評価を得ました。総合的にバランスの取れたロジカルな企画であるばかりでなく、住民に長く愛され利用されていく地域のランドマークとなり得る卓抜した提案が特に高く評価されました。いくつもの箱が重なりループラインを呈し、複合する機能が緩やかに繋がりながらそれぞれがハーモニーを奏でる施設計画は目を見張るものがあります。また、屋上テラスやイベント等で利用可能な屋根下駐車場といった立体的で合理的な利用が可能となることなど、機能・デザイン・環境を兼ね備えた点は未来的な期待を感じさせます。

その他の設計事務所等の提案についても、基本構想を忠実に再現し、パネル等を活用しながら熱意あるプレゼンテーションを行っていただきました。本プロポーザルに貴重な時間を費やし、努力いただいた参加者の皆様に深く敬意を表します。

今回行ったプロポーザル方式による選考は、設計案を選ぶのではなく、業務に対する理念や解決方法等の提案を求め、業務内容、業務背景に対する理解度・適切性・具体性を審査することにより、設計案を太田市と共同で作り上げるパートナーとなり得るかという視点を重要視致しました。今後基本設計を行うにあたっては、市民や関係機関との対話を行いながら提案内容の完成度を高めることを第一義的に考え、太田市の持続的発展に寄与する施設の整備が進むことを願って止みません。